

J-SLA ニュース・レター 2015 年 11 号

キャンパスの銀杏の木も黄金色の葉を落とし始めています。そして、日に日に寒くなり冬の到来を感じる今日この頃です。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今月のニュース・レターでは、報告とお知らせがそれぞれ 2 点ございます。

報告(1)：『秋の研修会』終了

2016 年度『秋の研修会』は、10 月 25 日（日）に 3 名の講師をお招きし、名城大学名駅サテライトキャンパスにて開催され、48 名が参加しました。

講演していただいたのは、以下の方々です。

講演 1 片岡邦好氏（愛知大学）「言語と身体の協奏：第二言語習得への示唆」

講演 2 畑佐由紀子氏（広島大学）「認知的アプローチに基づく教室内習得研究」

講演 3 Danijela Trenkic 氏（ヨーク大学）“How nativelike can non-native speakers be? Grammar comprehension, production and representation”

片岡氏は、CM や指導現場(心臓マッサージ)で使われることばと身体の動きを分析することにより、そこに詩的つながりを見出すという斬新な視点からの研究をご紹介いただきました。畑佐氏は、認知的な知見から教室内習得(ISLA)を検証した研究について、用語の定義にとまなう複雑さ、メタ分析、今後の研究課題などについて総括的に話ししていただきました。Trenkic 氏は、英語学習者にとってもその習得が最も困難とされる英語の冠詞について、非英語母語話者の母語と目標言語との競合という Structural Competition Model の理論的枠組みから行ったご自分の研究にもとづいて講演されました。いずれの講演も非常に興味深く、ますます研究意欲がわいた一日でした。3 名の招待後援者の方々にあらためてお礼申し上げます。

報告(2)：2015 年度第 2 回総会

報告事項：学会誌の進捗状況

須田編集委員長より学会誌 Second Language について以下の通り報告がありました。

- 第 14 号には 7 本投稿があり、2 本が採用され、掲載予定
- 第 15 号(H27 年 9 月 30 日〆切)には 8 本の投稿があり、5 本が一次審査を通過、外部査読へと進む

議題(1)：初夏の研修会日程変更について(事務局 柴田)

諸般の事情により、当初予定していた 2016 年 6 月 5 日を 2016 年 6 月 19 日(日)に変更することが承認されました。

議題(2)：委員会等設置規則について(会長若林)

若林会長より委員会等設置規則について提案があり、以下の内容で承認されました。

日本第二言語習得学会委員会設置規則

(趣旨)

第1条 この規則は、日本第二言語習得学会会則第10条に基づく、会務を遂行するための委員会の設置および廃止について定める。

(委員会設置および廃止の方法)

第2条 運営委員会を除く委員会の設置および廃止については、運営委員会での審議を経て、総会での承認を得る。

(委員会の任務)

第3条 委員会の目的、任務、構成、任期、委員長および委員会の招集等については、各委員会に関する規則によって定める。

附則 この規則は2015年10月25日より施行する。

また、既に設置されている編集委員会、広報委員会に加え、倫理規定委員会を設置予定ですが、その準備段階として、富田祐一氏を中心とした倫理規定ワーキング・グループを作ることが承認されました。

議題(3)：J-SLA ホームページ予算について(会計 狩野)

PacSLRF2016 に向け J-SLA のホームページを充実させることになりました。2015 年度予算にホームページ関連として 130,000 円を予算計上していましたが、必要経費が 320,000 円と算出されました。そのため、会計担当の狩野氏よりこの金額で予算執行することが提案され、総会で承認されました。

その他：PacSLRF 2016 について (若林会長)

発表申込みが 11 月 30 日まで延期されたこと、および PacSLRF2016 の宣伝に力を入れることの 2 点について説明がありました。

お知らせ(1)：2016 年度 PacSLRF 発表申込み延期

発表申込締切は 2015 年 11 月 30 日午後 11 時 59 分（日本時間）です。発表申し込みの方法等は、PacSLRF2016 のホームページをご覧ください。

英語のホームページ：<http://www.j-sla.org/pacslrf/>

日本語のホームページ：<http://www.j-sla.org/pacslrf/jp/>

口頭およびポスター、学生ワークショップ、コロキアムの発表募集をしております。奮ってご応募ください。

お知らせ(2)：2016 年度「初夏の研修会」開催日程変更

日時：2016 年 6 月 19 日(日) 10:30-17:00

場所：京都女子大学

招待講演者：

講演 1 石川慎一郎氏（神戸大学）

「学習者コーパスと SLA 研究：L2 運用の可視化を目指して」

講演 2 柴田美紀氏（広島大学）

「第二言語習得、英語教育、リンガ・フランカ英語の視点から再考する英語ネイティブの役割」

講演 3 尾島司郎氏（滋賀大学）

「人工文法学習パラダイムと言語習得研究」

参加費：一般／学生、会員／非会員に関わらず、1,000 円

*事前申し込み不要

文責：J-SLA 事務局 柴田美紀 (shibatam@hiroshima-u.ac.jp)